



石巻広域クラブ通信

THE Y'S MEN'S CLUB OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY, 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI Center
1-5-11, Tachimachi, Ishinomaki,
986-0824, Japan

〒986-0824 宮城県石巻市立町 1-5-11
YMCA 石巻センター
電話 022-271-6759 (清水)

2016年10月・第4号 E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: kochan-send.2@plum.plala.or.jp

== 2016-2017年度 主題 ==

クラブ会長 平井孝次郎 「地域を見つめて、楽しく奉仕を」
北東部部長 長岡正彦 (もりおか) 「明日のために、いま土台を築こう」
東日本区理事 利根川恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長 Tung Ming Hsian (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長 Joan Wilson (カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」

<今月の聖句>

「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる」(箴言 16章 9節)

<今月のテーマ> : EMC/E(クラブ拡張)、YES

10月第一例会プログラム

日時 10月21日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA石巻センター

司会 日野 峻

1. 開会点鐘 会長 平井孝次郎
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト紹介 司会
4. 会長あいさつ 平井会長
5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
6. 食事・懇談
7. ゲスト・メンバースピーチ
 - (1) ゲストスピーチ
くじらのしっぽ(社福祥心会) 阿部かよ子様
「くじらのしっぽと福祉行政の現状」
 - (2) メンバースピーチ
農地生産法人(株) 田伝むし 木村 純様
「今年の稲作と体験学習について」
8. 諸報告と連絡
9. ハッピーアニバーサリー
10. スマイル
11. 閉会点鐘 会長 平井孝次郎

祝 もりおかクラブ10周年記念例会

クラブ会長 平井孝次郎

去る9月17日(土)13時から駅前のホテルメトロポリタン盛岡で北東部部会も同時に開催された。石巻広域クラブからは6名が参加、初めての北東部会、クラブの周年記念例会の参加となりました。私は、9時の新幹線で先行して出発し、盛岡の親戚に寄り、バスと乗用車の分乗組と会場で合流しました。各地より多数の参加者があり盛会でした。部会では長岡北東部部長(もりおか)の点鐘で始まり、メンバーの中原真澄(内丸教会)牧師による聖書朗読と開会祈祷がありました。東日本区理事・利根川恵子氏の祝辞、各クラブ会長のアピールで私は石巻広域クラブの当年度の活動方針についてスピーチし、当年度主題の「地域を見つめて楽しく奉仕を」副題の「Y'sを知ろう!YMCAを知ろう!」について、当クラブが発足して初年度でもあり皆々様のご指導をお願いしたい旨を申し上げ、ご理解いただきました。(次ページへつづく)



<今月のデータ>

【例会出席率】 在籍 21名 メーキャップ I名 出席率 11/21 52%
9月例会出席者:メンバー10名、ゲスト2名、ビジター0名

【スマイル】 今月 6,500円、累計 26,820円

【ファンド】 今月 0円、累計 149,210円

【B F】 今月 0円、累計 0円

会長 平井孝次郎
副会長 日野 峻
書記 末永 博
会計 清水 弘一
担当主事 黒田 敦
ブリテン 関 喜一郎

前年度の部表彰では、当クラブの清水弘一さんが、仙台青葉城クラブの加藤会長とともに、新クラブの設立に尽力されたことに対する表彰を受けました。またデンマークからのSTEP交換留学生エスベン・エネバルド・ランツガード君(高校生)の自己紹介、第20回東日本区大会(川越)のアピールがありました。引き続き、もりおかクラブ10周年記念例会が執り行われました。井上修三会長の10周年迎えての喜びと感謝、そしてこれからのクラブ運営についての強い決意が述べられました。記念プログラムは「あ



れから5年、あの日を忘れない」と題して、震災遺構に指定された宮古市「たろう観光ホテルの社長・松本勇毅氏」の津波襲来時の生々しい映像を交えてのスピーチがあり、その後、祝宴が行われました。歓談の中では清水さんのお祝いの言葉があり、熊本震災の現状報告が日本YMCA同盟研究所所長・光永尚生氏よりありました。

祝会は、10周年記念例会に相応しく大きな盛り上がりの中で17時、無事終了解散となりました。帰り私は新幹線で、関さんは車で宮古に向かい、残りの4人は仙台までYMCAのバスに分乗、日野さん、阿倍さん、西村さんの3人は仙台より石巻まで特急バスで無事帰りました。以上、改めてもりおかクラブ10周年記念のお祝いを申し上げ、ご報告いたします。

9月・第一例会報告

- ・日 時 2016年9月16日(金) 18:30~20:30
 - ・場 所 YMCA石巻センター
 - ・出席者 平井孝次郎、日野峻、阿部安子、石川光晴、菊地信忠、関川祐一郎、関喜一郎、千葉徳正、西村富子、清水弘一、川上直哉(東北ヘルプ、ゲスト)伊藤剛士(東京YMCA、協力会員)
- <例会報告> 副書記 阿部安子
1. 開会点鐘 会長 平井孝次郎
 2. ワイズソング 一同
 3. ゲスト紹介 司会
 4. 会長あいさつ 平井会長
 5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
 6. 食事・懇談
 7. 特別プログラム 3名



東京より協力会員の伊藤剛士さんが新クラブの発足後、初めて例会に出席された。被災地支援のため、洗足学園音楽大学コンサートグループ(10名)を引率しての来石である。新任地東京YMCAでの近況をPPを使ってスピーチしていただいた。ゲストスピーチは、東北ヘルプ事務局長・川上直哉さんより、「福島原発エリアの現状と課題」と題して、深刻化する原発問題と被災者問題に分類して分かり易く説明していただいた。また、西村富子さんと清水ワイズからは、8月4日~7日台北で行われた国際大会での盛りだくさんの興味深い報告がありました。

- 8. 諸報告と連絡 担当
- 9. ハッピーアニバーサリー(該当者なし)
- 10. スマイル 一同
- 11. 閉会点鐘 平井会長

10月拡大役員会報告

- ・日 時 2016年10月7日(金) 18:30~20:30
 - ・場 所 YMCA石巻センター
 - ・出席者 平井孝次郎、日野峻、阿部安子、木村純城井廣邦(東京むかでクラブ、ビジター)阿部かよこ(くじらのしっぽ、ゲスト)伊勢みゆき(まなびのたねネットワーク、ゲスト)、清水弘一
 - ・内 容 平井会長の開会点鐘、ワイズソング、会長挨拶、3名のビジター・ゲスト紹介の後、軽食をいただきました。終了後は下記事項が報告・協議された。
1. 諸報告(詳細は10月号ブリテン記事参照)
 - (1) 北東部部会・もりおかクラブ創立10周年(会長)
 - (2) YMCAチャリティラン報告(清水)
 - (3) 石巻市荻浜地区津波の教え石プロジェクト会議(第3回)の開催報告(日野)
 - (4) 東京YMCA(東京たんぽぽクラブ)歌の広場報告(阿部)
 2. 協議事項
 - (1) 10月第一例会の開催について
 - ・日時 2016年10月21日(金) 18:30~
 - ・スピーカーについて(下記のお二人による)
 - ①ゲストスピーチ 阿部かよこさん
 - ②メンバースピーチ 木村純さん
 - ・クラブブリテン10月号の発行と原稿依頼の件

- (2) 東京YMCA（東京世田谷クラブ）歌の広場のスケジュールについて
- ・日時 2016年11月4日（金）～11月5日（土）
 - ・11月4日：石巻広域クラブ役員会での交流会
 - ・11月5日：午前（被災地視察）、午後2時～石巻市営新立野第一復興住宅集会所にて歌の会
- (3) 石巻市荻浜地区津波の教え石プロジェクトについて（東京むかでクラブ城井廣邦氏）
- ・プロジェクトの意義と現状報告が行われた。
- (4) 今後のスケジュールと対応について
- ①荻浜地区津波の教え石プロジェクト会議（第4回） 2016年10月07日（金）
 - ②4クラブ（仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域）連絡会議 2016年10月11日（火）
 - ③信越妙高クラブ（3名）来仙、打ち合わせ
 - ④中川直前北東部部長エルマークロー賞受賞祝 2016年10月13日（火）
 - ⑤関東東部20周年記念部会（つくば市） 2016年10月15日（土）
 - ⑥仙台YMCAチャリティゴルフ大会（平孝酒造より賞品提供） 2016年10月20日（木）
 - ⑦仙台青葉城クラブメネットナイト 同上
 - ⑧石巻広域クラブ第一例会 2016年10月21日（金）
 - ⑨被災地小学校交流サッカー大会 2016年10月22日（土）・23日（日）
- <今年も遠藤元気ワイズが指導する「湊小学校スポーツ少年団」が参加します。ぜひ応援に駆け付けましょう。大会会場は「東北学院泉キャンパス」サッカー場です。本試合は23日、9時半開始されます>
- ⑩石巻広域クラブ拡大役員会（東京世田谷クラブとの合同） 2016年11月04日（金）
 - ⑪東京世田谷クラブ歌の広場 2016年11月05日（土）
- (5) ファンド委員会の開催（木村純委員長）
- ①現状報告（東京YMCA夏祭り、東京YMCA南センター&東京都民教会バザー、大阪西クラブ40周年、十勝クラブ（じゃがいも、かぼちゃ、玉ねぎ）
 - ②今後の候補物産品の検討と進め方について 持続可能な被災地商品を選定し提供する。
- (6) その他
- ①12月クリスマス例会について
 - ・開催日：2016年12月9日（金）18時～
 - ・開催場所：レストラン「いち」
 - ・今回は、クラブメンバーとその家族、仙台3クラブ、入会候補者への案内とする。
 - ②欠席者の近況報告が清水ワイズより行われました。

▼石巻広域ホーム訪問歌の会

関 喜一郎

9月26日、グループホーム「長寿の郷 広瀬」で東京たんぽぽYサービスクラブ所属の越智京子さん他4名で、グループホームが鮎川にあった時から通算13回目の歌の会が開催されました。最初は年4回ほど開かれていましたが、越智さんの体調で最近2回になり、今年は3月についての開催でした。初回からの施設利用者もおり、利用者の皆さん心待ちにしていました。施設の談話室には、歓迎のパネルが飾ってあり、利用者・介護職員が、開会を待ちました。越智さんは、音楽の先生だけあり、プロジェクターでスクリーンに童謡や唱歌の歌詞を投影して、気候などの話から歌に進み、2時間余り、楽しい雰囲気の中参加者全員で合唱しました。



越智さんは、春に悪性乳がんの診断を受け、後日、精密検査で肺への転移も認められていましたが、以前から約束していた「広瀬」への訪問を終えてからの入院・手術の手はずでした。以前から人前で体調が悪いのを見せない方でしたが、今回も朝は気分が優れないと聞きましたが、会場では、おくびにも出さず、利用者の皆さんと楽しいひと時を過ごしておりました。10月に入ってから入院し、検査と手術で大変な状況だと思います。どうぞ、一日も早い治癒・回復を祈っております。（↓右は施設の小笠原代表）



東京たんぽぽクラブからは、小原史奈子会長、越智京子さん、服部節子さん、伴奏者の新部聖子さん、わくわくサロン利用者で92歳の村田ふみ江さん、仙台青葉城クラブの加藤真子メネット、石巻広域クラブから日野さん、阿部さん、清水さん、関が参加しました。

▼石巻市荻浜地区津波の教え石プロジェクト会議

10月7日（金）午後、第4回目のプロジェクト会議が荻浜中学校で関係者が出席して行われました。（写真↓：各班に分かれての検討会）



学校側より1～3年生4グループ、校長先生始め顧問の先生、荻浜支所長木村さん、城井ワイズ、日野ワイズ、清水ワイズが出席しました。今回は、4グループ毎に分かれて検討した津波石に刻む「キーワード」と「後世に伝えるメッセージ」の発表がありました。その成果をもとに、城井さんのアドバイスを得ながら、それぞれが石碑デザインの検討に入り、その成果が最後に各班代表より発表されました。10月30日の文化祭では、各班の学習の結果が地域の皆さんに披露され、次回の会議（11月11日）では、いよいよ具体化に向けて津波石のデザイン等、次の段階に進めることになりました。本日の会議には、NHKテレビから3人が取材に見えておりました。

▼東京 YMCA 医療福祉専門学校・八尾勝校長より平井会長宛に礼状が届きました。

〒186-0003 東京都国立市富士見台2-35-11
TEL:042-577-5521 FAX:042-577-5506

石巻広域ワイズメンズクラブ
会長 平井孝次郎 様

在 主

先月行われた弊校のワークキャンプでは大変お世話になり誠にありがとうございました。

高速バスの降り場に平井会長がお越し下さっていた事でまず驚き、YMCA石巻センターで阿部メンと西村メン、清水メンが布団干しから夕食のセットまですっかりご用意いただいていた事に驚き、さらに石巻センターに前回伺った時から比べて見違えるようにきれいになっていた事に驚きのとどめを刺されました！私どもは石巻センターに対して「薄汚く埃っぽい場所を居住できるようにまず整えるべき場所」である、とイメージしていたため、学生ともども良い方に意表を突かれた事でした。

ご用意くださった食事でも大変おいしく、かつ滋養に満ちたものであり、量的にも豊富に整えて頂いていたので、翌日の朝食にもさせて頂きました。

何から何まで整えて頂いた所に乗っからせて頂きました。事前に学生たちと固めていた覚悟がそれほど必要ではなく、また本来行おうとしていたグループホームでのレクリエーションを中心とした活動に集中する事が出来ました。グループホーム「長寿の郷広瀬」でも温かくお迎え頂きました。阿部さんの震災直後以降のお話、西村さんの被災体験を交えたお話とも合わせて、参加した学生にとってこの上ない体験をさせて頂きました。最終日に村井総主事に被災地のご案内を頂いた際にも、学生たちに向けたお話の力強さがとても印象的でした。

復興にはまだまだ時間もエネルギーも必要なだろうと拝察いたします。復興に向けた様々な活動自体がこれからの石巻の歴史を作ってゆくのでしょうかのごくごく端っこに加えて頂いた事、学生たちにとって一生残る体験になりました事を心より感謝し、今後とも引き続いての交流を賜りますと幸いです。

皆様方の末永いご健勝をお祈りいたします。

平安

（追伸）阿部様、西村様、清水様はじめお世話になりましたメンの皆様にくれぐれもよろしくお伝えください。

八尾 勝

▼福島原発被災地エリアの現状と私たちの課題

仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク
東北ヘルプ事務局長 川上直哉

2011年3月11日の災害は、「三重災害」でした。つまり、「地震・津波・原子力」災害だったのです。特に「原子力災害」は、忘れられがちです。その被災地は岩手県南部から東京都東部まで及んでいます（あるいはもっと広いかもしれませんが）。その被害の莫大さの故に、でしょう。私たちは、その現実から目をそらしてしまいます。

このことは、福島県内でも、同じであるようです。無意識に、あるいは意識的に、人々は「放射能」に関する事柄から目をそらしています。そうしないと、生きていけない。そう思っています。

でも、それは問題を先送りすることになりますから、その皺寄せは、ある日・ある人に、突然、押し寄せてきます。例えば、「除染が終了した」という理由で「来年には仮設を出なければならぬ」と迫られる避難中の人々へ。あるいは、今でもガイガーカウンターが街中で警報音を鳴らす、その中で妊娠した「新しいお母さん」たちのところへ。

その時、原子力災害の被災者は、はっと、気づきます。自分たちが孤立してしまっていることに。貧困が、襲い掛かってくる。健康不安が、とり憑いてくる。でも、自分のことを、だれも気にかけてくれない。孤立が、絶望を呼ぶ。

以上が、福島原発被災地エリアの現状です。だから、原子力被災地への支援は、まず、一つに絞られます。それは、「忘却しない」ということです。覚えていること。覚えていることを、伝えること。それができれば、大きな力になります。できることは少ないのです。でも、無力を感じて切ない思いに浸されている人の友達となって、その切なさをもにすることは、できる。それは、人の生きる力の源を呼び覚まします。その源とは、愛とか友情とか言われるものです。今、その力が、福島原発被災地エリアへの支援として、必要だと思えます。

▼映画「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」自主上映会の開催のお知らせ

＜ 自主上映会開催のご案内 ＞

開催日時 2016年11月26日（土）18時～
開場18時、上映18:30～20:05
監督講演20:10～20:45
開催場所 仙台市民活動サポートセンター・シアターホール（☎022-212-3010）
主 催 公益財団法人 仙台YMCA
共 催 ワイズメンズクラブ国際協会
そ の 他 入場の際は、招待券をご持参ください

「マザー・テレサ『聖人』の報に接して」



大阪高槻ワイズメンズクラブ

森本 榮三

インド・コルカタ(カルカッタ)

のslamで、貧しい人々を救済する活動に尽くしたマザー・テレサが、カトリック教会最高の崇敬対象「聖人」に認定されました。2016年9月4日、列聖式が行われたバチカンのサンピエトロ広場には、約10万人の信者らが集まったと、新聞は報じています。

私がマザー・テレサと初めてお会いしたのは1981年4月24日、東京で開かれた「命の尊厳を考える国際会議」でした。その時の出会いでインド・カルカッタの「神の愛の宣教者会」訪問の許可をいただきました。同年8月単身カルカッタを訪問、その後、1997年9月5日に亡くなるまでに8回訪問し、5回お目にかかりました。(↓写真マザー・テレサメモリアルハウス)



マザー・テレサは「神の愛の宣教者会」で奉仕するシスター達に、「日本からきた仏教徒のEIZO」と紹介し、「死

を待つ人の家」、「孤児たちの家」、「ハンセン病患者の家」を連れて歩き、それぞれの家でお手伝いすることを許してくれました。8回の訪問でこれまでの考えを一変させるような経験をしました。

「死を待つ人の家」では、道端で倒れ体中に虫がたかり、全身から強烈な悪臭を放つ男の人がトラックに乗せられ運び込まれました。マザーやシスターたちはシャワーで身体を洗い、その場で傷口の手当もします。横ではA4ノートを持ったシスターが「名前、宗教は」と問いかけます。その人の生きた証を聞き取り、死後、その人の信じた宗教で葬るためです。ベットに移された男はマザーの手をしっかりと握りしめ「なぜこんな私に親切を」と問いました。マザーは男の目を見つめ「あなたを愛しているからよ」と答えると、男はマザーの目をじっと見つめ、手をしっかりと握りしめたまま、息を引き取りました。

「孤児たちの家」で4歳の子どもと食事を共にした時、その子はパンを小さく千切って一つひとつゆっくり口に運びました。パンは沢山あるからいっぱい食べなさい、といっても聞きません。そして言いました。「早く食べてしまうとまたお腹が空いてし

もうから」と。私は涙が溢れて止まりませんでした。「ハンセン病患者の家」では帰り際に、一人の患者さんが差し出してくれた手を握ることができず、引込めました。傍にいたマザーの優しい目が「いいのよ」と言っていたようで今も忘れられません。マザー・テレサの没後、私がマザーと交流があったことを読売新聞が報じてからは、あちらこちらから講演を依頼されました。そんな時、必ず次のマザーの言葉を話します。人々に「どれだけ与えるかではなく、どれだけ愛を込めるかが大切。裸の人には衣服を着せてあげるだけでなく、人間としての尊厳も着せてあげてください。」「聖人」となられたマザー・テレサが天国でこの言葉を周りの人たちに話されているように思っています。有難うございました。

東日本区現定款の見直しについて

東日本区では今年度から「東日本区定款改正委員会」を設置し、20年ぶりに定款の全面見直しを行うことになりました。現在、各クラブで東日本区から提示された案文に対し、部で各クラブの意見をまとめて聴取し、区に下記の通り報告し、最終的に、代議員会での2度の審議を経て、国際協会に承認を求めることとなります。(弘)

- ・中間報告書：第2回委員会2016年10月23日
- ・最終報告書：第3回委員会2017年03月19日

●なぜ、今、改訂か？(定款改訂の区提案より)

- (1)「ワイズやYMCAを取り巻く環境は日々流動化しており、これからの変動する時代を見据えたとき、私たちの運動は、奉仕団体としてより広い視野を持ちつつ、青少年を初め、あらゆる世代、性別、宗教、文化、時代の違いを超えて、多くの人々から共感と理解を得られる集団でありたい。この思いを東日本区定款に反映させるため、ワイズとYMCAの理念をよりよく理解できる魅力的で格調高い『表現』を作成すべきと提案いたします」
- (2) 現行の東日本区定款は、制定されてから約20年が過ぎ、整合性に欠ける箇所がかなり認められることから逐条的に全文を見直すことにしました。全文を見直すといっても、今回の改訂作業は、現在の東日本区の組織、制度を全面的に見直した上での改訂ではなく、あくまでも現行の定款をベースとしたうえでの改訂です。これが、条文見直しの基本的スタンスであります。
- (3) 定款は簡単に変更できるものではないし、すべきでもありません。従って改訂に当たっては常にワイズの将来・今後の在り方を視野に入れ、今後10年、20年の変化に耐えられるものを目指して下さい。



東日本区第20代理事

利根川恵子 (川越クラブ)

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、お彼岸を過ぎて蒸し暑い日が続いております。みなさまにはいかがお過ごしでしょうか。部会、周年事業、CS事業等々ワイズ活動にお忙しいことと拝察いたします。部会と言えば、8月末の北海道部を皮切りに、北東部、富士山部が終了し、10月2日は、湘南・沖縄部に伺いました。それぞれに特徴のある、創意工夫を凝らした内容で、参加者も部や区までも超えてお集まりいただいて、ワイズダムの力を感じます。残りの3部も必ずや力強い部会になるものと楽しみにしております。折しも今月はEMC-Eの強調月間です。是非この部会に漲る勢いをクラブのエクステンションにつなげてください。石巻広域クラブ、東京多摩みなみクラブに続いて、東日本区に新しいクラブの設立を考えましょう。いくつか芽の出る可能性もありそうですが、具体的にはなっていないようです。みなさまの周囲に可能性はありますか。少しでも可能性があるならば、どうか待つことなく、「明日に向かって、今日動こう」の主題を思い出して行動をとってくださることを期待しております。行動することが必ずやクラブ、部ひいては区の活性化にもつながると信じます。どうぞよろしくお願いいたします。



仙台YMCAニュース

①第22回仙台YMCA国際ナショナル・チャリティーラン2016報告について

9月22日(木・祝)に、東北学院大学泉キャンパスにて「第22回仙台YMCA国際ナショナル・チャリティーラン2016」が行われました。小雨

が降る中での準備、開会式になりましたが、競技が始まると雨は



上がりました。駅伝の部は43チーム、ファミリーランは39チームが参加をし、参加者・ボランティア・来場者は述べ905名と過去最高の参加者数を記録しました。競技終了後、小雨のため開会式を早め、予定より短縮しましたが、大きな怪我もなく、

参加者・ボランティア共に有意義な時間を過ごしました。今回も多くのご支援を頂戴しました。改めて感謝申し上げます。(黒田)

石巻広域クラブからは、チーム名「支援します!石巻から」YMCAリーダー6名が上位を目指して頑張ってくれました。来年からは、ぜひ石巻からも精鋭のメンバーを派遣できればと思います。(弘)

(↓写真は石巻広域クラブチーム)



②第19回YMCAチャリティーゴルフ大会について

10月20日(木)に、泉国際ゴルフ倶楽部にて「第19回仙台YMCAチャリティーゴルフ大会」が行われます。10月14日時点で96名の参加申込があります。

③第45回仙台YMCAクリスマスについて

12月2日(金)に、仙台市民会館展示室にて「第45回仙台YMCAクリスマス」が行われます。詳細は案内をご確認ください。

④国際・地域協力募金【街頭募金】について

YMCAでは、毎年国際・地域協力募金を11月から12月にかけて行い、国際協力・被災地支援活動等、子ども及び青少年健全育成のために使わせていただいております。募金活動の一環として、下記の日程で街頭募金を行います。職員・ボランティアが多数参加し、市民の皆様へ募金の協力を呼びかけます。ぜひ、ご参加ください。

①11月3日(木・祝) 14:00~16:00

②11月27日(日) 14:00~16:00

③12月23日(火・祝) 14:00~16:00

*街頭募金の活動場所は、仙台市青葉区の①三越付近 ②フォールス付近 ③グッチ前 ④藤崎付近

★10月~12月クラブ行事予定

10月23日(日) 被災地少年交流サッカー大会

11月04日(金) クラブ拡大役員会・東京世田谷クラブとの交流会

11月05日(土) 新立野復興住宅集会所で歌声広場

11月11日(金) 荻浜津波石プロジェクト会議

11月18日(金) クラブ第一例会

11月26日(土) 北東部評議会・自主上映会(仙台)

12月02日(金) 仙台YMCAクリスマス会

12月09日(金) 当クラブクリスマス会(第一例会)

12月24日(土) クラブ拡大役員会